

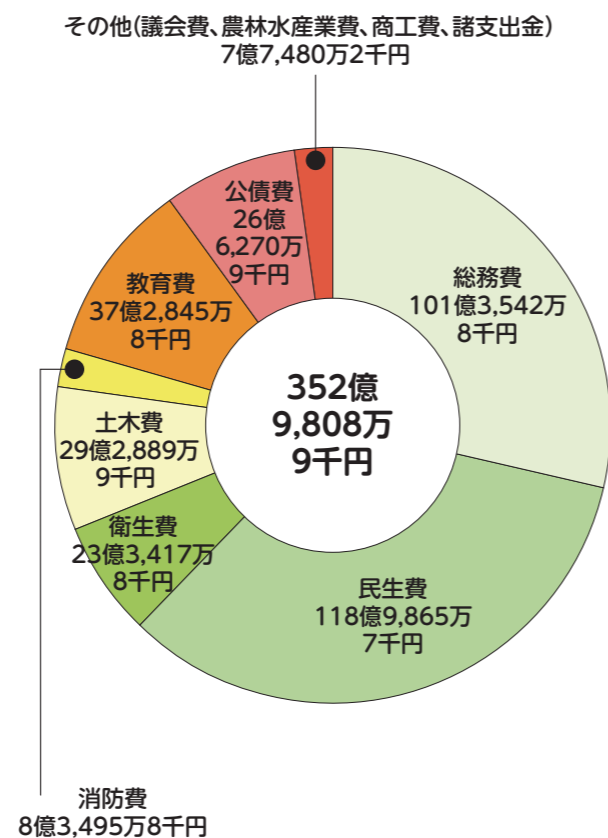
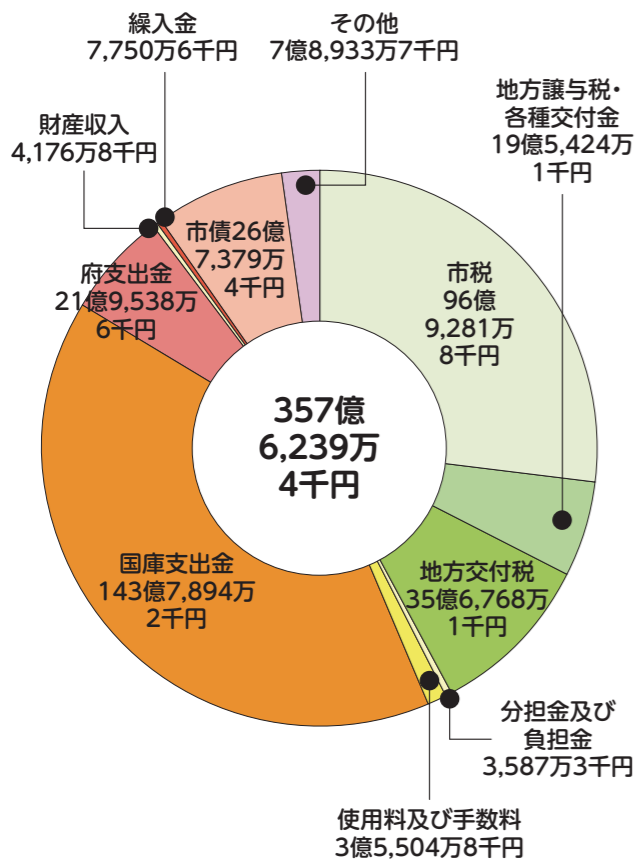
# 令和2年度の決算

☎ 財務課 ☎ 892-0121

一般会計決算は、歳入が357億6,239万4千円、歳出が352億9,808万9千円となり、差し引き4億6,430万5千円のプラス収支となりました。市の財政状況は土地開発公社の負債や、各公共施設等の老朽化対策等、多くの問題が山積みしており、さらに新型コロナウイルス感染症の流行長期化による経済の落ち込み等により、依然として厳しい状況が続くことが予測されます。今後も継続的・安定的な行政サービスを提供していくため、さらなる歳入の確保に努めるとともに、その財源を最大限に生かした、効果的で効率的な財政運営を進めます。

## 歳入

## 歳出



- ▷消費税および地方消費税の税率改正の影響により、地方消費税交付金が、2億9,873万2千円の増
- ▷新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や特別定額給付金給付事業に関する補助金等が交付されたことなどから、国庫支出金が99億9,557万円の大幅な増

- ▷新型コロナウイルス感染症に伴う生活支援としての特別定額給付金給付事業や新生児臨時特別給付金給付事業、国勢調査の実施などにより、総務費が76億3,204万1千円の増
- ▷星田北・星田駅北土地区画整理組合補助金が増加したことや、下水道使用料基本料金の免除に必要な負担金を支出したことから、土木費が9億4,205万1千円の増

### 主な事業

- 未来の教育ICT環境整備推進事業(タブレット整備等) 3億9,540万4千円
- 認定こども園整備等事業 5億9,030万8千円
- 魅力ある学校づくり基本設計等事業 1億3,150万8千円



## 会計別決算額

単位:千円

会計名	歳入総額	歳出総額	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	35,762,394	35,298,089	85,878	378,427	196,330
国民健康保険特別会計	7,758,170	7,552,355	0	205,815	△ 12,617
介護保険特別会計	6,017,110	5,867,612	0	149,498	△ 13,068
公共用地先行取得事業特別会計	1,036,978	1,036,978	0	0	0
後期高齢者医療特別会計	1,485,797	1,485,535	0	262	△ 36,383
<b>合計</b>	<b>52,060,449</b>	<b>51,240,569</b>	<b>85,878</b>	<b>734,002</b>	<b>134,262</b>

## 健全化判断比率

項目	説明	R2年度	R1年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	財政規模に対する赤字の割合	なし	なし	12.77%	20.0%
連結実質赤字比率	特別会計も含めた実質赤字比率	なし	なし	17.77%	30.0%
実質公債費比率	収入規模に対する公債費の割合	9.4%	9.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	財政規模に対する、今後負担することになる負債の割合	69.4%	86.7%	350.0%	基準なし
資金不足比率(水道事業)	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合	なし	なし	20.0%	基準なし
資金不足比率(下水道事業)		なし	なし	20.0%	基準なし

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため、また資金不足比率は資金不足が発生しないため、なしと表示しています。

## 基金と市債

単位:千円

単位:千円

基金(貯金)残高	
財政調整基金	3,916,879
減債基金	653,769
その他特定目的基金	2,057,941
<b>合計</b>	<b>6,628,589</b>

市債(借金)残高	
一般会計債	26,296,972
公共用地先行取得事業会計債	1,930,940
<b>合計</b>	<b>28,227,912</b>

※水道および下水道分、土地開発公社分は除きます。

## 公社・公営企業会計等

単位:千円

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純利益	前年度純利益
土地開発公社会計	638,775	623,837	14,938	16,596
水道事業会計	1,397,633	1,373,061	24,572	42,975
下水道事業会計	1,447,656	1,214,968	232,688	200,953

単位:千円

土地開発公社借入金の状況		
期間	借入金額	平均利率
長期	6,962,000	0.25%